



▲ふれ愛ピックのひとこま

障害者らが元気に交流

ふれあいの輪ひろげる



仕団による手作りの豚汁がふるまわれ、参加者らは、お互いの健闘をたたえながら、交流を深めていました。

村内在住の障害を持つ方がスポーツを通して自立・共生、健康と生きがいづくりを目指す「第3回ふれ愛ピック」は11月1日、飯館中学校体育館で行われました。

今大会へは村内の障害を持つ方約70人が参加、また、相農飯館分校生やウエルフェア30、民生児童委員などがボランティアスタッフとして運営を

サポートしました。

大会は、赤・青・黄の3チーム対抗で行われ、ペットボトルをピンに見立てて行うペットボトルストーンボーリングでは、第1位のチームと来賓の村議会議員チームとの対戦もあり、障害者らとの楽しくあたたかいふれあいに、会場は笑い声で満ち溢れていました。

競技終了後は、日赤奉



▲輪なげなども行われ、交流を深めました



▲オリジナルの「箕」づくり

比曽では、地区のミニデいの仲間を先生に、みんなで箕づくりをしました。昔作ったやり方を思い出して、それぞれオリジナルな『箕』が完成した時は、喜びもひとしおだったようです。また、村外の講師を呼んで、レクリエーションやカラオケを、楽しんだりもしています。昼食は、菅野一代さんが高齢者の喜ぶメニューを工夫して考えて、婦人会や保健協力委員、食生活改善委員の皆さんと、おいしい食事を作っています。



▲二本松市のレクリエーションインストラクター橋本千恵子さんとレクを楽しみました

ミニデイサービズ活動紹介
比曽ミニデイサービズ